

Title	大阪大学低温センターだより No.52 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 1985, 52
Version Type	VoR
URL	<a href="https://hdl.handle.net/11094/20874">https://hdl.handle.net/11094/20874</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 編 集 後 記

この号が皆様のお手元にお届けできる頃は、秋本番——色々記録づくめだった長い暑い夏も遠い過去と思えるような頃と思います。正に、暑さ寒さも彼岸まで。日本の風土に生れ育ったこそなればと、日頃あまり気にも留めない自然の変化を感じる頃かもしれません。

低温を一つの環境として利用させていただいている者として、それが便利になればなる程、初めて液体 He を使った時の質量を減すために小さなネジ1本までヤスリで削ってより小さくして試料を取付けたことを思い出し、最近の実験について反省もしたりしています。

この号の研究ノートは3編とも所謂低温そのものとは直接関係が無いようですが、それぞれ御興味を持ってお読みいただけるものと思っています。御寄稿頂いた方々に感謝いたします。先の号で新編集長の櫛田先生が書かれていらっしゃる「阪大のオリジナルな研究を主眼にして、必ずしも低温のみにはとらわれず、しかも他の分野の人にもわかり易いもの」ということを心掛けるつもり「の」気持で編集の仕事に参加しております。又、談話室で編集委員の一人山本さんが中国の話を書かれています。彼の留守中に原稿依頼したにも拘らず、書いていただけたのも編集委員としての責任感、が為か、小生に後記が回って来ました。

ねこが頭を冷して炬燵にあたっているという「低温センターだより」の中でもユニークな表紙 (No.33) で御好評をいただいた基礎工学部塚原仲晃教授が夏の日航機事故でお亡くなりになりました。心から御冥福をお祈り致します。合掌。

(服部武志)

大阪大学低温センターだより 第52号

昭和60年10月 発行

編集責任者 榎田孝司

発行者 大阪大学低温センター

吹田分室 大阪府吹田市山田丘2番1号

電話(06) 877-5111 内線4105

豊中分室 大阪府豊中市待兼山町1番1号

電話(06) 844-1151 内線2162

印刷所 阪東印刷紙器工業所

大阪市福島区玉川3丁目6番4号

電話(06) 443-0936(代表)

# 目 次

No. 52

## 研究ノート

圧力誘起分子解離と金属化……………基礎工学部 藤井 保彦…………… 1

光ファイバーを通しての光子飛行時間測定による蛍光分光……………

理 学 部 渡辺 純二

” 木下 修一…………… 6

スピングラスの凍結程度を表わす指標……………工 学 部 笠井 康弘…………… 10

## 談 話 室

中国科学院の低温センター……………低温センター 山本 純也…………… 13

表紙：光子飛行時間測定装置（本文6ページ参照）